



赤ちゃんのおはなし遊びについて

優しく触れながら話しかけて！！

赤ちゃんの生活は遊び一色です。お母さんの声を聞いたり、声を出したりするのも楽しい遊びです。お母さんの声をたくさん聞かせてあげてください。また、赤ちゃんが一番よく見えるのは、お母さんが抱っこで赤ちゃんと目を合わせられる 30～60 cm の距離です。この間で目を合わせたり、優しく体に触れたりしながらお話をすると五感に通じる「おはなし遊び」になります。

1. 無理をせず遊びながら話しかけを

話しかけるということに特別な言葉は必要ありません。

オムツを替えたら「気持ちよくなったね。さっぱりしたね。」、赤ちゃんが手をたたいたりしたら「上手だね。」など、お母さんが思っていることを口に出したり、赤ちゃんが思っていることを代弁するだけで十分なのです。

2. スキンシップが加わると赤ちゃんもお母さんも心地よくなります。

耳は胎児の頃から聞こえていますが、視力は未熟な赤ちゃん。ただ、話しかけるよりも体に触れながら話しかけてあげるとさらに効果的です。音だけでなく、体全体でお母さんを感じ取ることができ、お母さんも赤ちゃんももっと心地よく遊べます。

発達に合わせて遊ぼう！！

ねんね …おっぱいをあげているお母さんとの距離は、赤ちゃんの目の焦点が最も合う ところ。
赤ちゃんの目を見て話しかける絶好のチャンスです。

首すわり、寝返り …「アー」「クー」といった喃語が出始めるころ。赤ちゃんの喃語を真似したり、アレンジしたりしながらお話を楽しんでください。

おすわり …「いないいないばあー」など、お母さんとのやりとり遊びが楽しくなってくるころです。
一緒に遊びながら楽しみましょう。

はいはい、つかまり立ち …拍手やばんざいなど徐々に大人の真似をし始めるころです。少しでも真似をしようとしたら、たくさんほめて、「上手ね。」と言葉で反応してあげてください。

立っち、あんよ …盛んに何かと指さしするようになります。「ワンワンだね。」などと物の名前を教
えてあげてね。徐々に物と名前が結びついていきます。